

JILPT 資料シリーズ

No.15 2006年8月

若者の包括的な移行支援に関する予備的検討



独立行政法人 労働政策研究・研修機構
The Japan Institute for Labour Policy and Training

若者の包括的な移行支援に関する予備的検討

ま え が き

近年、フリーターやニート（若年無業者）の増加など、若者の移行行動の変化が社会的関心を集めている。

労働政策研究・研修機構はこれまで若者の就業についての調査分析を積み重ね、特に近年は教育から職業への移行が困難な若者についての調査をすすめてきた。他方で「普通の若者」を含んだ若者全体を射程とした調査研究は 2001 年 2 月の「若者のワークスタイル調査」が最後となっている。

同調査から 5 年が経過し、若者が置かれた状況のみならず、研究の枠組みも変化しつつある。近年の研究においては、就業・家庭・学校・ソーシャル・ネットワークなど、就業だけではない、包括的なアプローチの重要性が高まっている。現代の若者の状況を把握するために、若者の移行の実態がどのように変化しているのかについて包括的に検討し、今後の日本における移行支援政策について論じることが求められている。

こうした問題意識から、労働政策研究・研修機構では「若者の包括的移行支援研究会」を設置し、研究を進めている。

本資料シリーズは、2006 年 2 月実施の「第 2 回 若者のワークスタイル調査」の本格的な調査分析に先立って、JILPT 資料シリーズ No. 3 『別冊資料・就業構造基本調査特別集計』および、労働政策研究報告書 No. 35 『若者就業支援の現状と課題』に基づいて、予備的検討を行い、それをとりまとめたものである。

平成 18 年 8 月

労働政策研究・研修機構

理事長 小野 旭

執筆担当者

氏名	所属	執筆章
小杉 礼子 <small>こすぎ れいこ</small>	労働政策研究・研修機構 統括研究員	第3章 第4章
堀 有喜衣 <small>ほり ゆきえ</small>	労働政策研究・研修機構 研究員	第1章 第2章 第5章

「若者の包括的移行支援研究会」委員名簿

上西 充子	法政大学キャリアデザイン学部 助教授
久木元真吾	家計経済研究所 次席研究員
小杉 礼子	労働政策研究・研修機構 人材育成担当 統括研究員
堀 有喜衣	労働政策研究・研修機構 人材育成担当 研究員

目 次

まえがき

第1章 研究の概要	1
1. 集計資料および方法	1
2. 本資料シリーズの問題意識	1
第2章 正社員の働き方、フリーターの働き方	3
1. フリーターの状況の変化	3
2. 働き方の変化	6
3. 小括	16
第3章 雇用形態の多様化の下での「フリーター」	17
1. はじめに	17
2. 就業職種	19
3. 労働条件	20
4. 労働条件の学歴別、年齢段階別の検討	22
5. 小括	24
第4章 現職の前のキャリア	25
1. はじめに	25
2. 前職の有無と現職就業理由	25
3. 前職の概要と離職理由	28
4. 小括	31
第5章 東京と東京以外の若者の働き方	32
1. 職種	32
2. 週間就業時間	33
3. 小括	34

